

# 平成16年度 学生生活調査結果の概要

## まえがき

この「学生生活調査」は、学生に対する奨学援助事業の改善充実を図るための基礎資料を得ることを目的として、平成14年度まで文部科学省において隔年に実施されていましたが、平成16年4月に独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が設立されたことに伴い、文部科学省から日本学生支援機構に業務移管されました。このたび平成16年度の調査結果がまとまりましたので、主に大学昼間部及び大学院を中心に前回調査（平成14年度）との比較を行いながらその概要を説明します。

今回の調査は、前回調査（平成14年度）と同様に、大学昼間部、大学夜間部、短期大学昼間部、短期大学夜間部及び大学院の学生（専攻科、別科、通信教育部及び外国人学生を除く。）を調査対象とし、各種の条件下における学生の標準的な学生生活費とこれを支える家庭の経済状況、学生のアルバイト従事状況など学生の経済状況を把握することを主眼として、全国2,967,836人中から51,205人を抽出し、平成16年11月現在で実施したものです。

調査の方法としては、大学・短期大学の別、昼間部・夜間部の別、大学院修士課程・博士課程の別、設置者の別に従ってそれぞれ抽出率を定め、サンプル数を算出し、在籍学生数に比例して各大学、短期大学にサンプル数を割り当てて調査を依頼しました。調査有効回収率は61.1%で、本文で紹介する資料に掲げる数値は、この標本調査の結果を基礎として、調査対象学生総数についての数値を推定した結果となっています。

学生生活に伴う問題は、広範かつ複雑であって、この調査で取り上げたことに尽きるものではありませんが、この調査結果が学生生活に関心を寄せられる方々の参考になれば幸いです。

終わりに、日本学生支援機構が初めて実施主体となった平成16年度調査の実施に際し、多大なご協力をいただいた全国各大学及び各短期大学の皆様に深く感謝申し上げます。

独立行政法人 日本学生支援機構  
政策企画部 政策調査研究課

## 学生生活費とは

大学教育を受けるのに年間どれだけの経費がかかっているかを知るため、学生生活を送るために不可欠な要素としての学費と生活費を取り上げ、これを学生生活費としてその実態をみることにする。

ここに取り上げた「学費」とは、授業料、その他の学校納付金（入学料や入学時にのみ支払う施設設備費などの一時的納付金を除く。）、図書、学用品等に要する修学費、課外活動費及び通学費をいい、「生活費」とは、食費、住居・光熱費、保健衛生費、娯楽・嗜好費及びその他の日常費をいう。用語の定義、年間収入の取り方等については、後掲の《資料2》調査票の「調査項目の説明」を参照されたい。

また、この調査における大学院の「修士課程」、「博士課程」は次の区分によるものである。「修士課程」とは、(1) 修士課程、(2) 博士課程前期、(3) 一貫制博士課程の前期2年とする。「博士課程」とは、(1) 医・歯・獣医学系博士課程、(2) 博士課程後期、(3) 一貫制博士課程の後期3年とする。

学生生活費は、大学・短期大学別、昼間部・夜間部別、大学院修士課程・博士課程別、設置者別あるいは居住形態別等学生の置かれている条件の違いによって大きく影響されるので、以下、いくつかの基本的な条件について集計分析を行っているが、解説は主として大学昼間部及び大学院について行うことにした。

(注) 1. 本冊子中において、四捨五入した数を使用している表では、内訳の数の合計が、合計欄の数と一致しない場合がある。

2. 本冊子中において、平成14年度までの数値は文部科学省調べ。

## 1. 学生生活費

### (1) 年間学生生活費（A表）

年間の学生生活費は、次のようになっている。

#### ①大学昼間部等

大学昼間部は約194万円、短期大学昼間部は約166万円となっている。これを平成14年度調査と比較すると、大学昼間部で3.8%減、短期大学昼間部で6.7%減となっている。

なお、夜間部の学生生活費は、昼間部に比べ大学で約43万円、短期大学で約29万円低く、また、14年度調査と比較すると、大学で2.8%減、短期大学で5.7%減となっている。

#### ②大学院

修士課程は約177万円、博士課程は約211万円で、博士課程が修士課程を約33万円上回っている。これを14年度調査と比較すると、修士課程で2.9%減、博士課程で2.4%減となっている。

A表 年間学生生活費

(単位：円)

| 区分  | 大学        |           | 短期大学      |           | 大学院       |           |           |           |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|     | 昼間部       | 夜間部       | 昼間部       | 夜間部       | 修士課程      | 博士課程      | 平均        |           |
| 学費  | 授業料       | 812,600   | 516,400   | 685,400   | 443,200   | 575,500   | 497,300   | 554,100   |
|     | その他の学校納付金 | 184,700   | 78,100    | 254,100   | 140,900   | 57,400    | 29,700    | 49,800    |
|     | 修学費       | 51,900    | 48,100    | 63,000    | 35,400    | 68,800    | 134,500   | 86,800    |
|     | 課外活動費     | 47,300    | 32,000    | 15,900    | 14,600    | 28,300    | 39,200    | 31,300    |
|     | 通学費       | 72,000    | 73,900    | 80,800    | 79,100    | 65,600    | 79,700    | 69,400    |
| 計   | 1,168,500 | 748,500   | 1,099,200 | 713,200   | 795,600   | 780,400   | 791,400   |           |
| 生活費 | 食費        | 198,200   | 194,800   | 121,100   | 157,700   | 285,500   | 391,100   | 314,400   |
|     | 住居・光熱費    | 250,800   | 203,900   | 140,100   | 126,500   | 355,500   | 474,500   | 388,100   |
|     | 保健衛生費     | 39,700    | 34,700    | 45,000    | 47,000    | 40,700    | 54,400    | 44,400    |
|     | 娯楽・嗜好費    | 140,200   | 159,500   | 106,300   | 149,000   | 150,600   | 193,600   | 162,300   |
|     | その他の日常費   | 143,400   | 169,700   | 153,000   | 186,200   | 144,700   | 211,400   | 162,900   |
| 計   | 772,300   | 762,600   | 565,500   | 666,400   | 977,000   | 1,325,000 | 1,072,100 |           |
| 合計  | (△3.8)    | (△2.8)    | (△6.7)    | (△5.7)    | (△2.9)    | (△2.4)    | (△2.6)    |           |
|     | 1,940,800 | 1,511,100 | 1,664,700 | 1,379,600 | 1,772,600 | 2,105,400 | 1,863,500 |           |
| 参考  | 平成14年度    | 2,017,700 | 1,553,900 | 1,785,100 | 1,462,800 | 1,825,400 | 2,156,900 | 1,913,900 |
|     | 平成12年度    | 2,058,200 | 1,693,800 | 1,792,400 | 1,495,600 | 1,898,000 | 2,248,000 | 1,992,000 |
|     | 平成10年度    | 1,928,900 | 1,449,400 | 1,692,000 | 1,271,500 | 1,776,300 | 2,138,800 | 1,875,600 |

(注) ( ) は、平成14年度調査からの上昇率である。

(2) 学生生活費の推移 (B表, 第1図)

①大学昼間部

学生生活費の前回調査からの上昇率は、14年度調査においては2.0%減となったが、今回調査においても引き続き3.8%減となっている。これを学費と生活費とに分けて、その上昇率をみると、学費は14年度調査時の上昇率を2.9ポイント下回る0.6%増、生活費は1.2ポイント下回る9.8%減であった。

②大学院

学生生活費の前回調査からの上昇率は、修士課程は14年度調査時の上昇率を0.9ポイント上回り2.9%減、博士課程については14年度調査時の上昇率を1.7ポイント上回り2.4%減となっている。学費と生活費に分けてその上昇率をみると、学費は修士課程、博士課程それぞれ1.8%増、1.6%増、生活費は修士課程、博士課程それぞれ6.4%減、4.6%減であった。

なお、14年度調査時からの国民一般の家計消費支出指数の上昇率は0.4%減、消費者物価指数の上昇率は0.3%減であった。

(3) 設置者別の学生生活費 (C表)

学生生活費を設置者別で比較すると、次のようになっている。

①大学昼間部等

大学昼間部では、国立より私立が約52万円高くなっている。これは学費の差によるところが大きい。

短期大学昼間部についても、大学昼間部の場合と同じく、学費の差によ

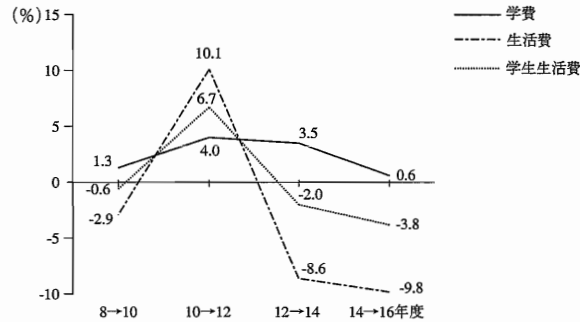
B表 学生生活費の推移

(単位：円)

| 区分            | 年度 | 10                     | 12        | 14        | 16        |           |        |
|---------------|----|------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
|               |    | 大                      | 学         | (2.9)     | (5.2)     | (3.2)     | (0.9)  |
| 大             | 学  | 授業料, その他の学校納付金         | 911,300   | 958,500   | 988,800   | 997,300   |        |
|               |    | 修学費, 課外活動費, 通学費        | (△6.6)    | (△2.5)    | (5.8)     | (△0.7)    |        |
|               |    | 計                      | 167,100   | 162,900   | 172,400   | 171,200   |        |
|               |    | 計                      | (1.3)     | (4.0)     | (3.5)     | (0.6)     |        |
|               |    | 計                      | 1,078,400 | 1,121,400 | 1,161,200 | 1,168,500 |        |
| 大             | 学  | 食費, 住居・光熱費             | (△1.5)    | (6.0)     | (△10.5)   | (△7.2)    |        |
|               |    | 保健衛生費, 娯楽・嗜好費, その他の日常費 | 510,200   | 540,700   | 484,000   | 449,000   |        |
|               |    | 計                      | (△4.8)    | (16.4)    | (△6.0)    | (△13.2)   |        |
|               |    | 計                      | (△2.9)    | (10.1)    | (△8.6)    | (△9.8)    |        |
|               |    | 計                      | 850,500   | 936,800   | 856,500   | 772,300   |        |
| 大             | 学  | 合計                     | (△0.6)    | (6.7)     | (△2.0)    | (△3.8)    |        |
|               |    | 計                      | 1,928,900 | 2,058,200 | 2,017,700 | 1,940,800 |        |
|               |    | 大                      | 学         | (4.0)     | (3.5)     | (4.3)     | (3.9)  |
|               |    | 授業料, その他の学校納付金         | 564,700   | 584,200   | 609,100   | 632,900   |        |
|               |    | 修学費, 課外活動費, 通学費        | (△2.2)    | (△5.2)    | (2.9)     | (△5.8)    |        |
| 大             | 学  | 計                      | 177,200   | 167,900   | 172,700   | 162,700   |        |
|               |    | 計                      | (2.5)     | (1.4)     | (3.9)     | (1.8)     |        |
|               |    | 計                      | 741,900   | 752,100   | 781,800   | 795,600   |        |
|               |    | 大                      | 学         | (1.3)     | (6.6)     | (△10.2)   | (△2.3) |
|               |    | 食費, 住居・光熱費             | 685,000   | 730,200   | 656,000   | 641,000   |        |
| 大             | 学  | 保健衛生費, 娯楽・嗜好費, その他の日常費 | (0.0)     | (19.0)    | (△6.8)    | (△13.3)   |        |
|               |    | 計                      | 349,400   | 415,700   | 387,600   | 336,000   |        |
|               |    | 計                      | (0.9)     | (10.8)    | (△8.9)    | (△6.4)    |        |
|               |    | 計                      | 1,034,400 | 1,145,900 | 1,043,600 | 977,000   |        |
|               |    | 計                      | (1.5)     | (6.9)     | (△3.8)    | (△2.9)    |        |
| 大             | 学  | 合計                     | 1,776,300 | 1,898,000 | 1,825,400 | 1,772,600 |        |
|               |    | 大                      | 学         | (4.2)     | (5.7)     | (7.4)     | (7.4)  |
|               |    | 授業料, その他の学校納付金         | 432,300   | 457,100   | 490,700   | 527,000   |        |
|               |    | 修学費, 課外活動費, 通学費        | (△5.1)    | (△4.5)    | (△2.2)    | (△8.7)    |        |
|               |    | 計                      | 297,300   | 283,800   | 277,500   | 253,400   |        |
| 大             | 学  | 計                      | (0.2)     | (1.5)     | (3.7)     | (1.6)     |        |
|               |    | 計                      | 729,600   | 740,900   | 768,200   | 780,400   |        |
|               |    | 大                      | 学         | (△0.8)    | (3.8)     | (△6.8)    | (△3.3) |
|               |    | 食費, 住居・光熱費             | 925,500   | 960,400   | 894,800   | 865,600   |        |
|               |    | 保健衛生費, 娯楽・嗜好費, その他の日常費 | (△3.9)    | (13.0)    | (△9.7)    | (△7.0)    |        |
| 大             | 学  | 計                      | 483,700   | 546,700   | 493,900   | 459,400   |        |
|               |    | 計                      | (△1.9)    | (6.9)     | (△7.9)    | (△4.6)    |        |
|               |    | 計                      | 1,409,200 | 1,507,100 | 1,388,700 | 1,325,000 |        |
|               |    | 計                      | (△1.2)    | (5.1)     | (△4.1)    | (△2.4)    |        |
|               |    | 計                      | 2,138,800 | 2,248,000 | 2,156,900 | 2,105,400 |        |
| 家計消費支出指数 (年度) |    | 出典「総務省家計調査年報」          | (△1.1)    | (△3.0)    | (△4.0)    | (△0.4)    |        |
| 消費者物価指数 (年度)  |    | 出典「総務省消費者物価指数年報」       | 98.9      | 99.9      | 92.1      | 91.7      |        |
|               |    |                        | (2.2)     | (△1.1)    | (△1.6)    | (△0.3)    |        |
|               |    |                        | 102.2     | 101.1     | 99.5      | 99.2      |        |

(注) 1. ( ) は、それぞれ前回調査からの上昇率である。  
2. 家計消費支出指数及び消費者物価指数は平成8年度の指数を100とする。

第1図 学生生活費の上昇率の推移（大学昼間部）



C表 設置者別の学生生活費

(単位:円)

| 区分      | 学 費            |                 |         | 生 活 費      |                        |         | 合計        |           |
|---------|----------------|-----------------|---------|------------|------------------------|---------|-----------|-----------|
|         | 授業料, その他の学校納付金 | 修学費, 課外活動費, 通学費 | 小計      | 食費, 住居・光熱費 | 保健衛生費, 娯楽・嗜好費, その他の日常費 | 小計      |           |           |
| 大 学     | 昼間部 国立         | 494,900         | 142,800 | 637,700    | 595,200                | 307,700 | 902,900   | 1,540,600 |
|         | 昼間部 公立         | 513,800         | 145,600 | 659,400    | 505,300                | 297,200 | 802,500   | 1,461,900 |
|         | 昼間部 私立         | 1,143,100       | 179,400 | 1,322,500  | 411,200                | 328,400 | 739,600   | 2,062,100 |
|         | 昼間部 平均         | 997,300         | 171,200 | 1,168,500  | 449,000                | 323,300 | 772,300   | 1,940,800 |
| 大 学     | 夜間部 国立         | 253,000         | 112,400 | 365,400    | 444,900                | 341,900 | 786,800   | 1,152,200 |
|         | 夜間部 公立         | 268,700         | 130,300 | 399,000    | 390,000                | 338,200 | 728,200   | 1,127,200 |
|         | 夜間部 私立         | 683,500         | 163,700 | 847,200    | 390,400                | 369,900 | 760,300   | 1,607,500 |
|         | 夜間部 平均         | 594,500         | 154,000 | 748,500    | 398,700                | 363,900 | 762,600   | 1,511,100 |
| 短 期 大 学 | 昼間部 国立         | 376,500         | 138,000 | 514,500    | 334,400                | 254,800 | 589,200   | 1,103,700 |
|         | 昼間部 公立         | 399,200         | 124,600 | 523,800    | 327,700                | 266,100 | 593,800   | 1,117,600 |
|         | 昼間部 私立         | 987,100         | 162,700 | 1,149,800  | 255,300                | 307,900 | 563,200   | 1,713,000 |
|         | 昼間部 平均         | 939,500         | 159,700 | 1,099,200  | 261,200                | 304,300 | 565,500   | 1,664,700 |
| 大 学     | 夜間部 国立         | -               | -       | -          | -                      | -       | -         | -         |
|         | 夜間部 公立         | 239,000         | 82,800  | 321,800    | 220,100                | 489,900 | 710,000   | 1,031,800 |
|         | 夜間部 私立         | 650,900         | 138,100 | 789,000    | 296,700                | 361,300 | 658,000   | 1,447,000 |
|         | 夜間部 平均         | 584,100         | 129,100 | 713,200    | 284,200                | 382,200 | 666,400   | 1,379,600 |
| 大 学     | 修士課程 国立        | 487,200         | 143,600 | 630,800    | 715,800                | 333,700 | 1,049,500 | 1,680,300 |
|         | 修士課程 公立        | 505,300         | 171,600 | 676,900    | 572,100                | 332,300 | 904,400   | 1,581,300 |
|         | 修士課程 私立        | 879,700         | 191,300 | 1,071,000  | 534,200                | 339,900 | 874,100   | 1,945,100 |
|         | 修士課程 平均        | 632,900         | 162,700 | 795,600    | 641,000                | 336,000 | 977,000   | 1,772,600 |
| 大 学     | 博士課程 国立        | 466,300         | 230,300 | 696,600    | 874,400                | 444,200 | 1,318,600 | 2,015,200 |
|         | 博士課程 公立        | 487,100         | 308,000 | 795,100    | 892,100                | 512,600 | 1,404,700 | 2,199,800 |
|         | 博士課程 私立        | 712,300         | 309,500 | 1,021,800  | 834,600                | 493,100 | 1,327,700 | 2,349,500 |
|         | 博士課程 平均        | 527,000         | 253,400 | 780,400    | 865,600                | 459,400 | 1,325,000 | 2,105,400 |
| 大 学     | 平均 国立          | 480,500         | 171,100 | 651,600    | 765,900                | 368,600 | 1,134,500 | 1,786,100 |
|         | 平均 公立          | 500,800         | 206,100 | 706,900    | 653,200                | 377,800 | 1,031,000 | 1,737,900 |
|         | 平均 私立          | 846,400         | 214,700 | 1,061,100  | 593,900                | 370,400 | 964,300   | 2,025,400 |
|         | 平均 平均          | 603,900         | 187,500 | 791,400    | 702,500                | 369,600 | 1,072,100 | 1,863,500 |

(注) 短期大学夜間部(国立)は調査対象者なし。

て国立より私立が約61万円高くなっている。

また、夜間部の場合、昼間部に比べ全体に学費は低く、生活費は大学では差が無いものの、短期大学では高くなっており、設置者別にみると昼間部と同様に私立が高くなっている。

②大学院

学費は私立が国立より修士課程で約44万円、博士課程で約33万円高くなっている。生活費は、修士課程では、国立が私立に比べ約18万円高く、博士課程では、国立と私立ではあまり差はない。

また、学費と生活費を合わせた学生生活費は、私立が国立より修士課程で約26万円、博士課程で約33万円高くなっている。

(4) 居住形態別の学生数の割合(D表)

居住形態別学生数の割合は、大学昼間部の平均で自宅51.0%、学寮5.3%、下宿・間借、その他(以下、「下宿等」という)43.8%である。

D表 居住形態別学生数の割合

(単位:%)

| 区分      |         |    | 自宅   | 学寮  | 下宿等  | 計     |
|---------|---------|----|------|-----|------|-------|
| 大 学     | 昼 間 部   | 国立 | 31.0 | 6.5 | 62.5 | 100.0 |
|         |         | 公立 | 38.5 | 2.2 | 59.4 | 100.0 |
|         |         | 私立 | 56.4 | 5.1 | 38.4 | 100.0 |
|         |         | 平均 | 51.0 | 5.3 | 43.8 | 100.0 |
| 夜 間 部   |         |    | 56.8 | 7.4 | 35.9 | 100.0 |
| 短 期 大 学 | 昼 間 部   |    | 67.3 | 8.5 | 24.2 | 100.0 |
|         | 夜 間 部   |    | 71.5 | 1.5 | 27.0 | 100.0 |
| 大 学     | 修 士 課 程 | 国立 | 29.9 | 5.0 | 65.1 | 100.0 |
|         |         | 公立 | 45.7 | 3.0 | 51.3 | 100.0 |
|         |         | 私立 | 53.7 | 1.7 | 44.6 | 100.0 |
|         |         | 平均 | 39.7 | 3.7 | 56.7 | 100.0 |
| 大 学     | 博 士 課 程 | 国立 | 30.1 | 3.3 | 66.6 | 100.0 |
|         |         | 公立 | 41.9 | 2.0 | 56.1 | 100.0 |
|         |         | 私立 | 45.1 | 0.9 | 53.9 | 100.0 |
|         |         | 平均 | 34.4 | 2.7 | 62.9 | 100.0 |

なお、自宅通学者は、私立では56.4%を占めているのに対し、国立、公立ではそれぞれ31.0%、38.5%と低い。

また、大学院については、修士課程の平均で自宅39.7%、学寮3.7%、下宿等56.7%、博士課程の平均で自宅34.4%、学寮2.7%、下宿等62.9%となっており、大学、短期大学で自宅が最も高いのとは逆に、大学院では下宿等が最も高くなっている。

(5) 居住形態別の学生生活費 (E表、第2図)

①大学昼間部

居住形態別の学生生活費は、国・公・私立を通じて下宿等通学者が最も高く、自宅通学者の学生生活費の1.4~1.7倍となり、その差は、国立約77万円、公立約70万円、私立約75万円となっている。学寮通学者の場合は、国・公・私立とも自宅通学者と下宿等通学者の中間にあつて、自宅通学者の1.2~1.4倍となり、その差は、国立約19万円、公立約29万円、私立約61万円となっている。

自宅通学者と学寮、下宿等通学者の学生生活費の差は、主として食費及び住居・光熱費の差によるものであり、これを国立の大学昼間部及び大学院の修士課程・博士課程の平均を例にとって月額で示したのが第2図である。

E表 居住形態別学生生活費

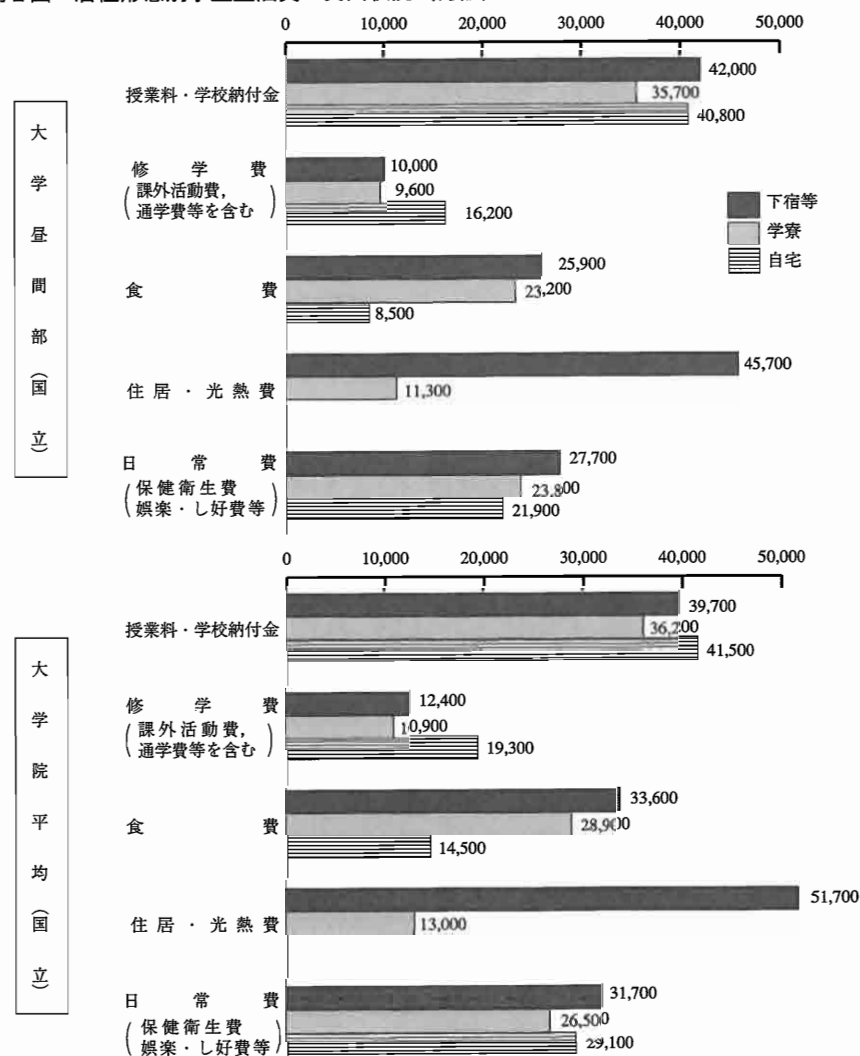
(単位：円)

| 区分               |                  |                 | 自宅              | 学寮              | 下宿等             |
|------------------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 大<br>学           | 昼<br>間<br>部      | 国立              | 1,048,100 (100) | 1,242,100 (119) | 1,815,500 (173) |
|                  |                  | 公立              | 1,037,900 (99)  | 1,330,200 (127) | 1,741,500 (166) |
|                  |                  | 私立              | 1,741,800 (166) | 2,354,600 (225) | 2,492,800 (238) |
|                  |                  | 平均              | 1,642,200       | 2,083,000       | 2,271,800       |
| 短<br>期<br>大<br>学 | 昼<br>間<br>部      | 国立              | 927,800 (100)   | 1,111,200 (120) | 1,374,900 (148) |
|                  |                  | 公立              | 904,800 (98)    | 1,047,700 (113) | 1,380,800 (149) |
|                  |                  | 私立              | 1,551,700 (167) | 1,919,500 (207) | 2,125,600 (229) |
|                  |                  | 平均              | 1,513,900       | 1,836,700       | 2,025,600       |
| 大<br>学<br>院      | 修<br>士<br>課<br>程 | 国立              | 1,152,300 (100) | 1,357,900 (118) | 1,927,400 (167) |
|                  |                  | 公立              | 1,183,100 (103) | 1,253,700 (109) | 1,915,500 (166) |
|                  |                  | 私立              | 1,567,200 (136) | 2,041,400 (177) | 2,379,200 (206) |
|                  |                  | 平均              | 1,366,200       | 1,466,900       | 2,056,900       |
|                  | 博<br>士<br>課<br>程 | 国立              | 1,485,400 (100) | 1,469,700 (99)  | 2,239,500 (151) |
| 公立               | 1,556,000 (105)  | 1,556,000 (105) | 2,624,300 (177) |                 |                 |
| 私立               | 1,758,100 (118)  | 2,499,900 (168) | 2,792,400 (188) |                 |                 |
| 平均               | 1,581,900        | 1,556,800       | 2,371,000       |                 |                 |

(注) ( ) は、国立の自宅を基準(100)とした場合の指数である。

食費及び住居・光熱費について、下宿等通学者と学寮通学者を比較すると、下宿等通学者の方が、食費で月額約3千円、住居・光熱費で月額約3万4千円多くなっている。

第2図 居住形態別学生生活費の支出状況 (月額)



(注) 大学昼間部及び大学院の自宅生は住居・光熱費のデータなし。

修学費（課外活動費，通学費を含む。）については，自宅通学者が最も高くなっているが，これは自宅通学者の通学費が最も高いことによるものである。

②大学院

修士課程では，下宿等通学者の学生生活費は，自宅通学者の1.5～1.7倍で，その差は，約73～約81万円となっている。

また，博士課程では，下宿等通学者の学生生活費は自宅通学者の1.5～1.7倍で，その差は，約75万円～約107万円となっている。

(6) 地域別・居住形態別学生生活費（F表，第3図）

大学昼間部について学生生活費を地域別に比較すると，国・公・私立全体の平均では，東京圏（「東京圏」とは，東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県をいう）が最も高く，次いで京阪神（「京阪神」とは，京都府・大阪府・兵庫県をいう），その他の地域の順となっている。設置者別・居住形態別にみると，最も高いのは私立の東京圏の下宿等通学者で約263万円となっている。

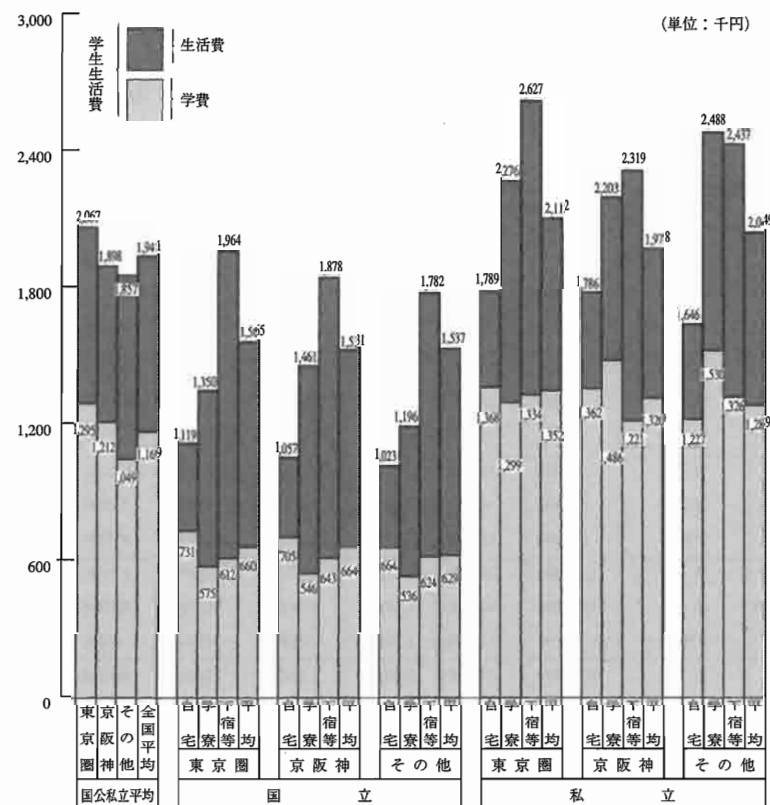
F表 地域別・居住形態別学生生活費（大学昼間部）

(単位：円)

| 区分          | 東京圏       |           |           | 京阪神       |           |           | その他       |           |           | 全国平均      |           |           |           |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|             | 学費        | 生活費       | 合計        | 学費        | 生活費       | 合計        | 学費        | 生活費       | 合計        | 学費        | 生活費       | 合計        |           |
| 国公立平均       | 1,295,400 | 771,100   | 2,066,500 | 1,211,800 | 685,900   | 1,897,700 | 1,048,600 | 808,700   | 1,857,300 | 1,168,500 | 772,300   | 1,940,800 |           |
| 大<br>立<br>学 | 自宅        | 730,800   | 388,500   | 1,119,300 | 704,500   | 352,500   | 1,057,000 | 663,800   | 358,700   | 1,022,500 | 684,200   | 363,900   | 1,048,100 |
|             | 学寮        | 574,900   | 774,800   | 1,349,700 | 545,500   | 915,100   | 1,460,600 | 535,800   | 659,800   | 1,195,600 | 543,000   | 699,100   | 1,242,100 |
|             | 下宿等       | 612,300   | 1,352,100 | 1,964,400 | 643,400   | 1,234,400 | 1,877,800 | 623,500   | 1,158,700 | 1,782,200 | 624,400   | 1,191,100 | 1,815,500 |
|             | 平均        | 659,700   | 905,100   | 1,564,800 | 663,800   | 866,800   | 1,530,600 | 628,500   | 908,500   | 1,537,000 | 637,700   | 902,900   | 1,540,600 |
| 公<br>立<br>学 | 自宅        | 770,300   | 369,800   | 1,140,100 | 696,700   | 354,200   | 1,050,900 | 689,000   | 333,200   | 1,022,200 | 696,300   | 341,600   | 1,037,900 |
|             | 学寮        | 460,000   | 986,600   | 1,446,600 | 677,100   | 779,900   | 1,457,000 | 615,400   | 647,900   | 1,263,300 | 615,400   | 714,800   | 1,330,200 |
|             | 下宿等       | 616,300   | 1,241,200 | 1,857,500 | 623,600   | 1,271,700 | 1,895,300 | 639,600   | 1,076,000 | 1,715,600 | 637,000   | 1,104,500 | 1,741,500 |
|             | 平均        | 697,200   | 725,500   | 1,422,700 | 667,600   | 722,800   | 1,390,400 | 655,400   | 826,200   | 1,481,600 | 659,400   | 802,500   | 1,461,900 |
| 部<br>私<br>立 | 自宅        | 1,367,700 | 421,100   | 1,788,800 | 1,361,800 | 424,100   | 1,785,900 | 1,226,700 | 419,700   | 1,646,400 | 1,320,600 | 421,200   | 1,741,800 |
|             | 学寮        | 1,299,400 | 976,800   | 2,276,200 | 1,485,800 | 716,800   | 2,202,600 | 1,529,800 | 958,600   | 2,488,400 | 1,424,200 | 930,400   | 2,354,600 |
|             | 下宿等       | 1,334,300 | 1,292,400 | 2,626,700 | 1,221,300 | 1,097,700 | 2,319,000 | 1,326,000 | 1,110,600 | 2,436,600 | 1,311,600 | 1,181,200 | 2,492,800 |
|             | 平均        | 1,352,300 | 760,100   | 2,112,400 | 1,320,300 | 657,300   | 1,977,600 | 1,288,600 | 760,000   | 2,048,600 | 1,322,500 | 739,600   | 2,062,100 |

(注) 「東京圏」とは，東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県をいう。  
「京阪神」とは，京都府・大阪府・兵庫県をいう。

第3図 地域別・居住形態別学生生活費（大学昼間部）



(7) 男女別・居住形態別学生生活費（G表）

①大学昼間部

居住形態別の学生生活費を男女別にみると，国立では，女子が男子を自宅通学者で約2万2千円（男子約103万9千円，女子約106万1千円），下宿等通学者で約1万4千円（男子約181万円，女子約182万4千円）上回っている。

また，私立では，女子が男子を自宅通学者で約3万3千円（男子約172万6千円，女子約175万9千円），下宿等通学者で約2万6千円（男子約248万2千円，女子約250万9千円）上回っている。

②大学院

修士課程，博士課程全体の平均では，自宅通学者については，女子が男子

を国立では約2万3千円（男子約124万4千円，女子約126万7千円），私立では約1万8千円（男子約159万3千円，女子約161万1千円）上回っている。下宿等通学者についても，女子が男子を国立では約7万6千円（男子約201万1千円，女子約208万8千円）上回っており，私立では約7万8千円（男子約245万3千円，女子約253万円）上回っている。

G表 男女別・居住形態別学生生活費

(単位：円)

| 区分                         | 学 費                   |                       |           | 生 活 費             |                              |           | 合 計     |           |           |           |
|----------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------|-------------------|------------------------------|-----------|---------|-----------|-----------|-----------|
|                            | 授業料，<br>その他の<br>学校納付金 | 修学費，<br>課外活動費，<br>通学費 | 小 計       | 食費，<br>住居・<br>光熱費 | 保健衛生費，<br>娯楽・し好費，<br>その他の日費費 | 小 計       |         |           |           |           |
| 大<br>学<br>立<br>間<br>部      | 国<br>立                | 男                     | 自宅        | 488,700           | 193,900                      | 682,600   | 110,700 | 246,100   | 356,800   | 1,039,400 |
|                            |                       | 学寮                    | 443,800   | 128,100           | 571,900                      | 438,200   | 257,600 | 695,800   | 1,267,700 |           |
|                            |                       | 下宿等                   | 504,000   | 121,900           | 625,900                      | 871,000   | 313,100 | 1,184,100 | 1,810,000 |           |
|                            |                       | 女                     | 自宅        | 491,700           | 194,900                      | 686,600   | 88,500  | 285,800   | 374,300   | 1,060,900 |
|                            |                       | 学寮                    | 399,300   | 88,900            | 488,200                      | 367,100   | 338,400 | 705,500   | 1,193,700 |           |
|                            |                       | 下宿等                   | 504,800   | 117,100           | 621,900                      | 839,100   | 363,100 | 1,202,200 | 1,824,100 |           |
|                            | 私<br>立                | 男                     | 自宅        | 1,107,200         | 207,800                      | 1,315,000 | 117,500 | 293,400   | 410,900   | 1,725,900 |
|                            |                       | 学寮                    | 1,217,500 | 168,900           | 1,386,400                    | 584,600   | 302,400 | 887,000   | 2,273,400 |           |
|                            |                       | 下宿等                   | 1,205,700 | 129,300           | 1,335,000                    | 811,900   | 335,500 | 1,147,400 | 2,482,400 |           |
|                            |                       | 女                     | 自宅        | 1,104,300         | 222,400                      | 1,326,700 | 99,300  | 332,700   | 432,000   | 1,758,700 |
|                            |                       | 学寮                    | 1,343,900 | 127,600           | 1,471,500                    | 670,700   | 313,800 | 984,500   | 2,456,000 |           |
|                            |                       | 下宿等                   | 1,141,300 | 133,900           | 1,275,200                    | 850,000   | 383,300 | 1,233,300 | 2,508,500 |           |
| 大<br>学<br>立<br>院<br>平<br>均 | 国<br>立                | 男                     | 自宅        | 502,600           | 223,500                      | 726,100   | 184,200 | 334,100   | 518,300   | 1,244,400 |
|                            |                       | 学寮                    | 427,400   | 127,600           | 555,000                      | 514,000   | 309,100 | 823,100   | 1,378,100 |           |
|                            |                       | 下宿等                   | 476,600   | 142,000           | 618,600                      | 1,031,200 | 361,400 | 1,392,600 | 2,011,200 |           |
|                            |                       | 女                     | 自宅        | 486,000           | 249,400                      | 735,400   | 150,800 | 381,000   | 531,800   | 1,267,200 |
|                            |                       | 学寮                    | 466,100   | 145,700           | 611,800                      | 455,900   | 357,500 | 813,400   | 1,425,200 |           |
|                            |                       | 下宿等                   | 477,700   | 172,200           | 649,900                      | 998,700   | 439,000 | 1,437,700 | 2,087,600 |           |
|                            | 私<br>立                | 男                     | 自宅        | 873,300           | 237,700                      | 1,111,000 | 167,800 | 314,000   | 481,800   | 1,592,800 |
|                            |                       | 学寮                    | 775,200   | 273,600           | 1,048,800                    | 697,600   | 392,600 | 1,090,200 | 2,139,000 |           |
|                            |                       | 下宿等                   | 844,600   | 171,800           | 1,016,400                    | 1,048,900 | 387,200 | 1,436,100 | 2,452,500 |           |
|                            |                       | 女                     | 自宅        | 820,900           | 265,800                      | 1,086,700 | 145,600 | 378,700   | 524,300   | 1,611,000 |
|                            |                       | 学寮                    | 852,300   | 189,900           | 1,042,200                    | 616,000   | 378,700 | 994,700   | 2,036,900 |           |
|                            |                       | 下宿等                   | 824,600   | 196,200           | 1,020,800                    | 1,060,900 | 448,500 | 1,509,400 | 2,530,200 |           |

(8) 学年別の学生生活費 (H表)

学費は，学年間で大きな差は見られないが，生活費は逆に高学年になるにつれて高くなる傾向にある。なお，大学昼間部の第5，第6学年については医・歯・獣医学部の学生であり，第4学年に比較して学費，生活費とも高くなっている。

H表 学年別の学生生活費

(単位：円)

| 区分               |                  | 1 年   | 2 年       | 3 年       | 4 年       | 5 年       | 6 年       |           |
|------------------|------------------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 大<br>学           | 昼<br>間<br>部      | 学 費   | 1,153,800 | 1,179,100 | 1,163,700 | 1,147,100 | 2,146,300 | 2,127,200 |
|                  |                  | 生 活 費 | 648,400   | 741,000   | 816,800   | 869,200   | 1,186,300 | 1,067,400 |
|                  |                  | 計     | 1,802,200 | 1,920,100 | 1,980,500 | 2,016,300 | 3,332,600 | 3,194,600 |
| 短<br>期<br>大<br>学 | 昼<br>間<br>部      | 学 費   | 1,096,000 | 1,104,900 | 1,009,600 | —         | —         | —         |
|                  |                  | 生 活 費 | 533,200   | 590,000   | 650,600   | —         | —         | —         |
|                  |                  | 計     | 1,629,200 | 1,694,900 | 1,660,200 | —         | —         | —         |
| 大<br>学<br>院      | 修<br>士<br>課<br>程 | 学 費   | 801,000   | 790,000   | —         | —         | —         | —         |
|                  |                  | 生 活 費 | 957,600   | 996,900   | —         | —         | —         | —         |
|                  |                  | 計     | 1,758,600 | 1,786,900 | —         | —         | —         | —         |
| 博<br>士<br>課<br>程 | 博<br>士<br>課<br>程 | 学 費   | 773,700   | 776,400   | 782,300   | 854,100   | —         | —         |
|                  |                  | 生 活 費 | 1,228,800 | 1,302,000 | 1,352,600 | 2,055,500 | —         | —         |
|                  |                  | 計     | 2,002,500 | 2,078,400 | 2,134,900 | 2,909,600 | —         | —         |

2. 学生の収入の状況 (I表, 第4図)

学生生活費は，家庭からの給付，奨学金及びアルバイト収入等で賄われているが，上級課程へ進むほど，家庭からの給付額が少なくなるなど収入構成に差異がある。その状況はI表，収入額内訳は第4図のとおりである。

①大学昼間部等

大学昼間部の家庭からの給付額は，国・公・私立の平均で約145万円（月額約12万1千円）であり，収入総額（約220万円）に占める家庭からの給付額の割合は65.9%となり，前回調査に比べ3.7ポイント下回っている。家庭からの給付額を設置者別にみると，私立が国・公立に比べそれぞれ約40万，約52万円上回っている。男女別では，ほとんど差はみられない。

なお，アルバイトによる収入は平均約34万円で，収入総額に占める割合は15.7%と，前回調査時に比べ0.3ポイント下回っている。

また，短期大学昼間部の家庭からの給付額は約125万円（月額約10万4千円）

で大学昼間部の平均より低いものの、収入総額（約190万円）に占める割合は65.9%と同割合となっている。

## ②大学院

修士課程の家庭からの給付額は、国・公・私立の平均で約105万円（月額約8万7千円）であり、収入総額（約207万円）に占める家庭からの給付額の割合は50.6%となっている。

また、博士課程の家庭からの給付額は、国・公・私立の平均で約53万円（月額約4万4千円）であり、収入総額（約277万円）に占める割合は19.0%と低い。

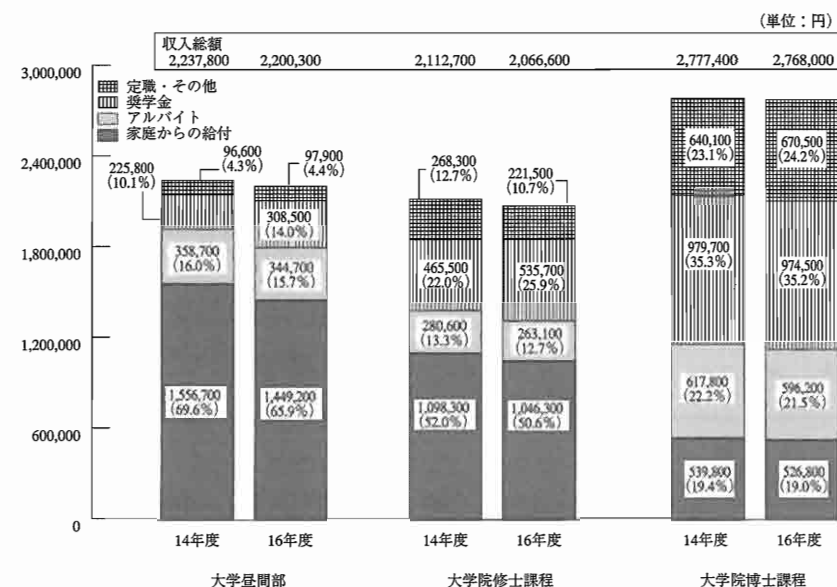
なお、奨学金及びアルバイト収入の占める割合は、家庭からの給付額が低いこともあって、56.7%と高くなっている。

Ⅰ表 収入及びその構成割合

| 区分                    |           | 家庭からの給付    | 奨学金      | アルバイト    | 定職・その他    | 収入総額       |
|-----------------------|-----------|------------|----------|----------|-----------|------------|
| 大<br>学<br>昼<br>間<br>部 | 国<br>立    | (65.0)     | (14.6)   | (17.0)   | (3.3)     | (100.0)    |
|                       |           | 1,146,100円 | 258,100円 | 298,800円 | 59,000円   | 1,762,000円 |
|                       |           | (59.2)     | (17.0)   | (19.2)   | (4.6)     | (100.0)    |
|                       | 公<br>立    | 1,027,100  | 294,500  | 333,700  | 79,400    | 1,734,700  |
|                       |           | (66.3)     | (13.8)   | (15.3)   | (4.6)     | (100.0)    |
|                       | 私<br>立    | 1,544,100  | 321,300  | 356,200  | 108,100   | 2,329,700  |
|                       | 男         | (66.0)     | (13.7)   | (16.2)   | (4.2)     | (100.0)    |
|                       |           | 1,450,700  | 300,300  | 355,800  | 91,800    | 2,198,600  |
|                       |           | (65.7)     | (14.5)   | (15.0)   | (4.8)     | (100.0)    |
|                       |           | 1,447,400  | 318,800  | 330,800  | 105,500   | 2,202,500  |
| 女                     | (65.9)    | (14.0)     | (15.7)   | (4.4)    | (100.0)   |            |
|                       | 1,449,200 | 308,500    | 344,700  | 97,900   | 2,200,300 |            |
| 平<br>均                | (65.9)    | (14.0)     | (15.7)   | (4.4)    | (100.0)   |            |
|                       | 1,449,200 | 308,500    | 344,700  | 97,900   | 2,200,300 |            |
| 短期大学昼間部               |           | (65.9)     | (14.1)   | (14.7)   | (5.2)     | (100.0)    |
|                       | 1,253,600 | 268,600    | 280,100  | 99,000   | 1,901,300 |            |
| 大<br>学<br>院           | 修士課程      | (50.6)     | (25.9)   | (12.7)   | (10.7)    | (100.0)    |
|                       | 1,046,300 | 535,700    | 263,100  | 221,500  | 2,066,600 |            |
|                       | (19.0)    | (35.2)     | (21.5)   | (24.2)   | (100.0)   |            |
| 博<br>士<br>課<br>程      | 526,800   | 974,500    | 596,200  | 670,500  | 2,768,000 |            |

(注) ( ) は、収入総額に占める割合である。

第4図 収入額内訳



## 3. 家庭からの給付額等

### (1) 家庭からの給付 (J表, K表)

大学・短期大学の昼間部における家庭からの給付は、その額では大学（約144万9千円）が短期大学（約125万4千円）より約20万円多いが、学生生活費に占める割合は、短期大学が大学を0.6ポイント上回っている。

なお、大学院修士課程及び博士課程における家庭からの給付額は、修士課程が約104万6千円、博士課程が約52万7千円で、学生生活費に占める割合は、それぞれ59.0%、25.0%と大学・短期大学の昼間部に比べ低くなっている。

また、家庭の年間平均収入に占める学生への給付額の割合は、大学昼間部が17.2%、大学院修士課程が12.6%、同博士課程が6.6%で、ここ数年間ほぼ同割合となっている。

### (2) 家庭の年間平均収入 (K表)

学生の家庭の年間平均収入を設置者別にみると、私立が最も高い。国立と私立の差をみると、大学昼間部が約80万円、修士課程が約109万円、博士課程が約218万円と、それぞれ私立が高くなっている。



J表 家庭からの給付額の推移

(単位:円)

| 区分      |                  | 年度               | 平成10年度    | 平成12年度    | 平成14年度    | 平成16年度    |
|---------|------------------|------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 大学昼間部   | 家庭からの給付額         |                  | 1,502,400 | 1,556,000 | 1,556,700 | 1,449,200 |
|         | 給付額<br>学生生活費×100 |                  | 77.9%     | 75.6%     | 77.2%     | 74.7%     |
| 短期大学昼間部 | 家庭からの給付額         |                  | 1,350,100 | 1,415,900 | 1,353,400 | 1,253,600 |
|         | 給付額<br>学生生活費×100 |                  | 79.8%     | 79.0%     | 75.8%     | 75.3%     |
| 大学院     | 修士課程             | 家庭からの給付額         | 1,126,300 | 1,129,000 | 1,098,300 | 1,046,300 |
|         |                  | 給付額<br>学生生活費×100 | 63.4%     | 59.5%     | 60.2%     | 59.0%     |
|         | 博士課程             | 家庭からの給付額         | 551,300   | 525,000   | 539,800   | 526,800   |
|         |                  | 給付額<br>学生生活費×100 | 25.8%     | 23.4%     | 25.0%     | 25.0%     |

K表 家庭の年間平均収入

(単位:千円)

| 区分   | 大学   |                 | 短期大学             |                 | 大学院              |                 |                  |
|------|------|-----------------|------------------|-----------------|------------------|-----------------|------------------|
|      | 昼間部  | 夜間部             | 昼間部              | 夜間部             | 修士課程             | 博士課程            |                  |
| 16年度 | 国立   | 7,810           | 6,040            | 6,830           | —                | 7,890           | 7,450            |
|      | 公立   | 7,500           | 6,490            | 6,530           | 5,500            | 8,230           | 8,660            |
|      | 私立   | 8,610           | 7,000            | 7,710           | 6,350            | 8,980           | 9,630            |
|      | 平均   | (△6.1)<br>8,420 | (△3.1)<br>6,820  | (0.8)<br>7,620  | (△16.1)<br>6,210 | (△6.9)<br>8,310 | (△0.9)<br>8,040  |
| 参考   | 14年度 | (△5.9)<br>8,970 | (△12.9)<br>7,040 | (△8.8)<br>7,560 | (△3.6)<br>7,400  | (△2.6)<br>8,930 | (△12.1)<br>8,110 |
|      | 12年度 | (△0.5)<br>9,530 | (1.2)<br>8,080   | (△2.8)<br>8,290 | (△9.6)<br>7,680  | (0.0)<br>9,170  | (△0.1)<br>9,230  |
|      | 10年度 | (△1.4)<br>9,580 | (△6.2)<br>7,981  | (△3.9)<br>8,528 | (4.1)<br>8,497   | (△0.6)<br>9,167 | (△4.7)<br>9,235  |

(注) ( ) は、前回調査に対する上昇率 (%) である。

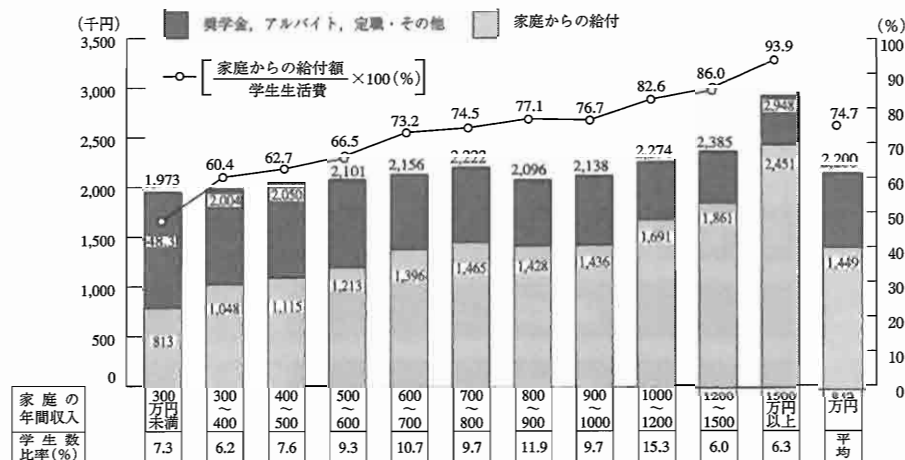
(3) 家庭の収入階層別学生生活費に占める家庭からの給付の割合 (第5図)

大学昼間部について家庭の年間収入額と家庭からの給付額の間をみると、おおむね家庭の収入が高くなるにつれて家庭からの給付額も高く、また、学生生活費に占める家庭からの給付額の比率も高くなっている。

(4) 家庭の収入階層別学生数 (L表)

大学昼間部の家庭の年間収入額別学生数の割合を、総務省の家計調査 (平成16年) から全国全世帯の45~54歳の世帯主 (学生の家庭の世帯主年齢と想定) の五分位階層区分 (集計世帯を収入額の低いものから高いものへ順に並べ、そ

第5図 家庭の収入階層別学生生活費に占める家庭からの給付の割合 (大学昼間部)



の世帯数を5等分したもので、収入額の低いグループから高い方へ順に第I、第II、第III、第IV、第Vと区分したもの)を推計し、これに当てはめると、L表のとおりである。

国公立では、共に第I五分位に最も高い分布を示しており、次いで第III五分位の順で高かった。私立については、第IV五分位に最も高い分布を示しており、次いで第I五分位の順で高かった。

なお、国公立を通じて、第V五分位が最も低い分布を示している。

L表 45~54歳の世帯主の家庭の収入階層区分別学生数の割合 (大学昼間部)

(単位:%)

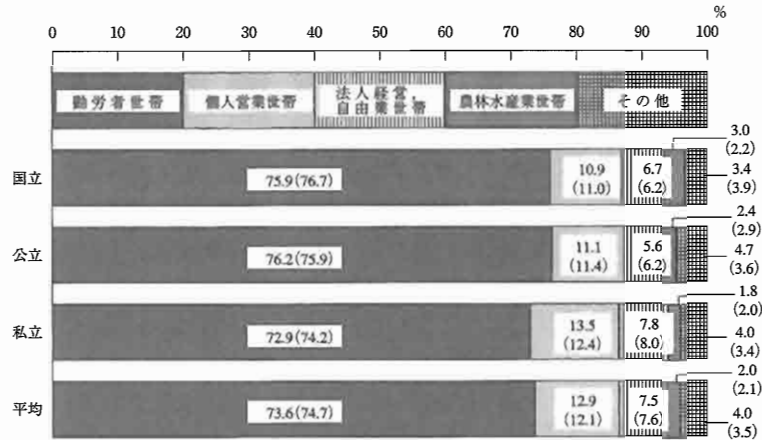
| 区分 | 第I五分位                       | 第II五分位  | 第III五分位                                       | 第IV五分位  | 第V五分位           |
|----|-----------------------------|---|---|---|-----------------|
|    | 千円<br>(~5,171)<br>5,044千円未満 | 千円<br>(5,171~7,012)<br>5,044千円以上<br>6,934千円未満 | 千円<br>(7,012~8,808)<br>6,934千円以上<br>8,588千円未満 | 千円<br>(8,808~11,186)<br>8,588千円以上<br>10,929千円未満 | 千円<br>(11,186~) |
| 国立 | (22.3)                      | (21.5)  | (18.1)  | (22.2)  | (15.9)          |
| 公立 | 25.8                        | 15.0  | 24.4  | 20.8  | 14.1            |
| 私立 | (27.6)                      | (25.2)  | (17.4)  | (20.2)  | (9.6)           |
| 平均 | 28.9                        | 15.2  | 23.1  | 20.1  | 12.7            |
| 国立 | (19.9)                      | (21.9)  | (17.5)  | (23.8)  | (16.9)          |
| 公立 | 23.1                        | 16.0  | 19.3  | 26.5  | 15.1            |
| 平均 | (20.7)                      | (21.9)  | (17.6)  | (23.3)  | (16.5)          |
| 国立 | 23.8                        | 15.8  | 20.4  | 25.2  | 14.8            |

(注) ( ) は、平成14年度調査の額及び割合である。

(5) 主たる家計支持者の世帯区分別学生数の割合 (第6図)

大学昼間部の場合、国・公・私立とも勤労者世帯の学生数が多く、72.9～76.2%を占めている。

第6図 主たる家計支持者の世帯区分別学生数の割合 (大学昼間部)



(注) ( ) は、平成14年度調査の割合である。

4. アルバイトの従事状況

(1) アルバイトの従事状況 (M表, N表, 第7図)

調査時前の1年間にアルバイトに従事した経験を有する者の全学生に対する割合等の状況は、次のとおりである。

①大学昼間部

アルバイト従事者は全学生の76.8%となっており、14年度調査と比較して同割合となっている。これらの者の経済状況を示したのが第7図である。「家庭からの給付なし」の者が4.4%、家庭からの給付のみでは「修学に不自由、修学継続困難」な者が47.1%、家庭からの給付のみで修学は可能であるが、アルバイトに従事したとする者が48.6%となっている。

②大学院

アルバイトに従事した経験を有する者は、全学生のうち、修士課程が68.8%、博士課程が62.0%で、これらのうち、「家庭からの給付なし」の者がそれぞれ12.1%、39.7%、家庭からの給付のみでは「修学に不自由・修学継続困難」な者がそれぞれ53.2%、47.3%となっており、修士課程で65.3%、博士課程で

M表 アルバイトの従事状況

(単位: %)

| 区分      |           |           | 平成10年度 | 平成12年度 | 平成14年度 | 平成16年度 |      |
|---------|-----------|-----------|--------|--------|--------|--------|------|
| 大学昼間部   | 従業アルバイト者  | 修学可能      | 45.4   | 46.2   | 29.7   | 37.3   |      |
|         |           | 修学不自由・困難  | 32.6   | 33.8   | 47.1   | 39.6   |      |
|         |           | 計         | 78.0   | 80.0   | 76.8   | 76.8   |      |
|         | アルバイト非従事者 | 22.0      | 20.0   | 23.2   | 23.2   |        |      |
| 短期大学昼間部 | 従業アルバイト者  | 修学可能      | 51.9   | 50.5   | 28.7   | 32.7   |      |
|         |           | 修学不自由・困難  | 23.3   | 24.0   | 44.2   | 38.3   |      |
|         |           | 計         | 75.2   | 74.5   | 72.9   | 71.0   |      |
|         | アルバイト非従事者 | 24.8      | 25.5   | 27.1   | 29.0   |        |      |
| 大学院     | 修士課程      | 従業アルバイト者  | 修学可能   | 24.9   | 24.6   | 21.0   | 23.8 |
|         |           | 修学不自由・困難  | 43.0   | 44.2   | 47.7   | 44.9   |      |
|         |           | 計         | 67.9   | 68.8   | 68.7   | 68.8   |      |
|         |           | アルバイト非従事者 | 32.1   | 31.2   | 31.3   | 31.2   |      |
|         | 博士課程      | 従業アルバイト者  | 修学可能   | 5.5    | 5.1    | 4.9    | 8.1  |
|         |           | 修学不自由・困難  | 56.8   | 57.9   | 58.4   | 53.9   |      |
|         |           | 計         | 62.3   | 63.0   | 63.3   | 62.0   |      |
|         |           | アルバイト非従事者 | 37.7   | 37.0   | 36.7   | 38.0   |      |

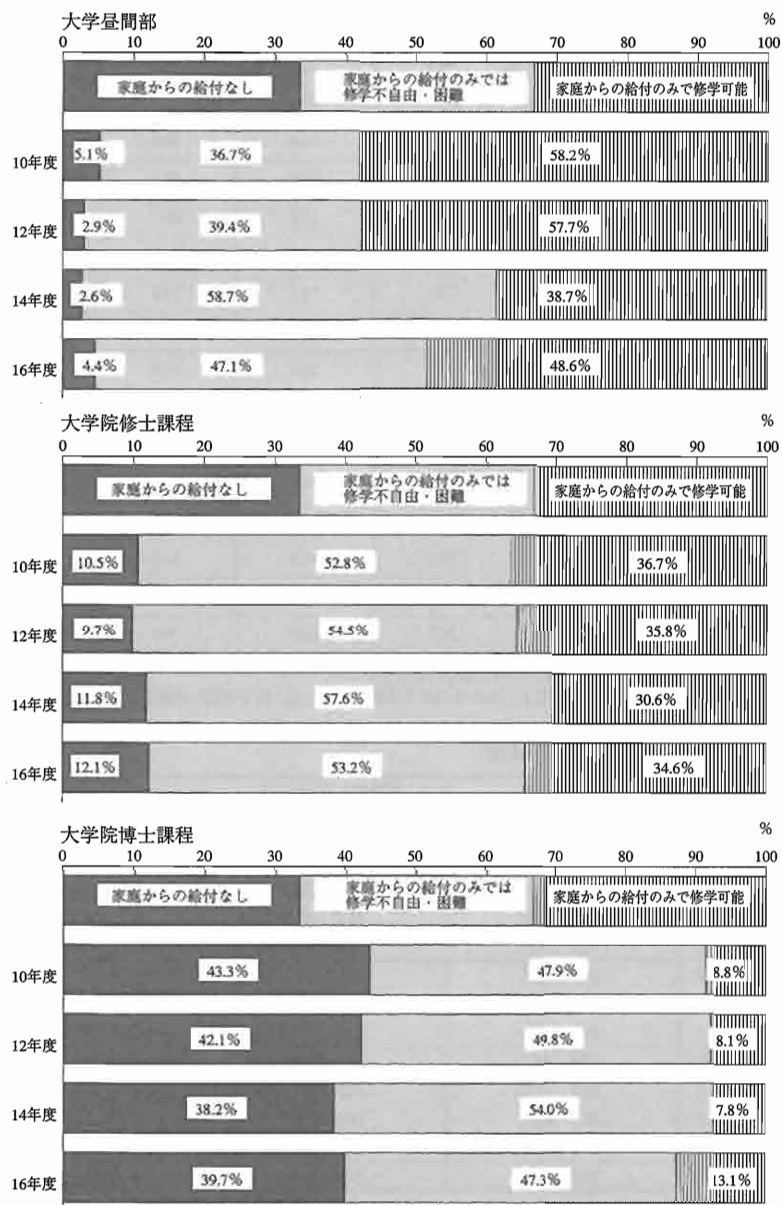
(注) 1. 「修学可能」とは、家庭からの給付のみで修学可能な者をいう。  
2. 「修学不自由・困難」とは、家庭からの給付のみでは修学に不自由、修学継続が困難及び家庭からの給付なしの者をいう。

N表 アルバイト従事者の経済状況

| 区分    |             | 全学生のうち<br>アルバイト従事者 | 家庭からの給付なし、<br>給付のみでは修学に<br>不自由・困難 | 家庭からの給付のみで<br>修学可能 |             |
|-------|-------------|--------------------|-----------------------------------|--------------------|-------------|
| 大学昼間部 | 国立          | 75.2 (76.5) %      | 49.7 (58.3) %                     | 50.4 (41.7) %      |             |
|       | 公立          | 79.5 (80.5)        | 53.1 (67.5)                       | 46.8 (32.5)        |             |
|       | 私立          | 77.1 (76.7)        | 51.9 (61.8)                       | 48.1 (38.2)        |             |
|       | 平均          | 76.8 (76.8)        | 51.6 (61.3)                       | 48.6 (38.7)        |             |
| 大学院   | 修士課程        | 国立                 | 66.2 (66.3)                       | 64.2 (66.7)        | 35.8 (33.3) |
|       |             | 公立                 | 65.1 (68.6)                       | 67.0 (73.9)        | 33.0 (26.1) |
|       |             | 私立                 | 73.3 (72.6)                       | 66.8 (72.9)        | 33.2 (27.1) |
|       |             | 平均                 | 68.8 (68.7)                       | 65.3 (69.4)        | 34.6 (30.6) |
|       | 博士課程        | 国立                 | 60.1 (61.3)                       | 87.9 (92.7)        | 12.1 (7.3)  |
| 公立    | 60.7 (63.9) | 90.8 (92.0)        | 9.2 (8.0)                         |                    |             |
| 私立    | 67.8 (68.8) | 84.4 (91.7)        | 15.8 (8.3)                        |                    |             |
| 平均    | 62.0 (63.3) | 86.9 (92.3)        | 13.1 (7.7)                        |                    |             |

(注) 1. 「家庭からの給付なし、給付のみでは修学に不自由・困難」、「家庭からの給付のみで修学可能」欄の数字は、66頁(H-1表)、102頁(H-2表)、103頁(H-3表)を基に全学生のうちアルバイト従事者を、100とした割合である。  
2. ( ) は、平成14年度調査における割合である。

第7図 家庭からの給付程度別アルバイトの従事学生の割合の推移



87.0%の者が、修学上やむを得ずアルバイトに従事していることが伺える。

(2) アルバイト従事時期別学生数の割合 (第8図, O表)

①大学昼間部

「長期休暇中も授業期間中も従事する者」及び「授業期間中に経常的に従事する者」の合計は75.1%となっている。

②大学院

「長期休暇中も授業期間中も従事する者」及び「授業期間中に経常的に従事する者」の合計は、修士課程が66.6%、博士課程では72.7%となっている。

(3) アルバイト従事職種別学生数の割合 (P表)

アルバイトに従事した職種別の学生数の割合は、P表にみられるように、学校種別によって大きく異なっている。

①大学昼間部等

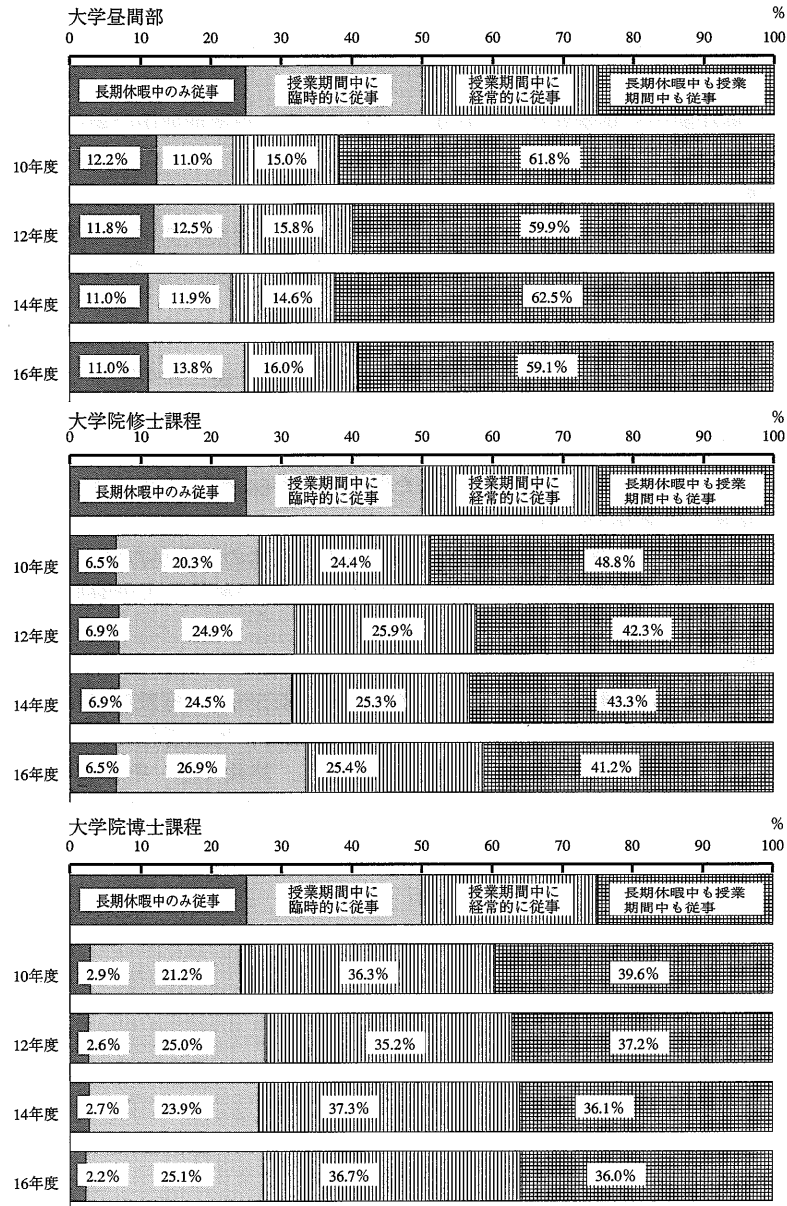
大学昼間部では、軽労働に従事した者の割合が64.0%を占め、次いで家庭教師に従事した者16.5%となっている。

なお、短期大学昼間部では、軽労働に従事した者の割合が77.8%を占めているのに対し、家庭教師に従事した者は3.1%と、その割合は大学昼間部に比べ相当低くなっている。

②大学院

修士課程では、軽労働に従事した者の割合が31.5%、家庭教師に従事した者31.3%、特殊技能・その他23.9%などとなっており、博士課程では、軽労働に従事した者8.6%、家庭教師に従事した者26.3%、特殊技能・その他54.2%などとなっているように、大学院では、家庭教師や特殊技能に従事する者の割合が高くなっている。

第8図 アルバイト従事時期別学生数の割合の推移



〇表 アルバイト従事時期別学生数の割合

| 区分    | 長期休暇中のみ従事 | 授業期間中に臨時的に従事 | 授業期間中に経常的に従事  | 長期休暇中も授業期間中も従事 |               |               |             |
|-------|-----------|--------------|---------------|----------------|---------------|---------------|-------------|
| 大学昼間部 | 国立        | 7.9 (8.3) %  | 13.6 (13.8) % | 18.9 (18.7) %  | 59.6 (59.2) % | 78.5 (77.9) % |             |
|       | 公立        | 9.1 (8.0)    | 12.4 (10.7)   | 16.2 (15.8)    | 62.4 (65.5)   | 78.6 (81.3)   |             |
|       | 私立        | 11.9 (11.8)  | 14.0 (11.5)   | 15.4 (13.6)    | 58.8 (63.1)   | 74.2 (76.7)   |             |
|       | 平均        | 11.0 (11.0)  | 13.8 (11.9)   | 16.0 (14.6)    | 59.1 (62.5)   | 75.1 (77.1)   |             |
| 大学院   | 修士課程      | 国立           | 6.2 (6.9)     | 28.7 (26.5)    | 23.8 (23.3)   | 41.4 (43.3)   | 65.2 (66.6) |
|       | 公立        | 7.4 (5.4)    | 25.5 (22.5)   | 24.2 (22.9)    | 43.0 (49.2)   | 67.2 (72.1)   |             |
|       | 私立        | 6.7 (7.1)    | 24.6 (22.0)   | 27.8 (28.4)    | 40.9 (42.5)   | 68.7 (70.9)   |             |
|       | 平均        | 6.5 (6.9)    | 26.9 (24.5)   | 25.4 (25.3)    | 41.2 (43.3)   | 66.6 (68.6)   |             |
| 博士課程  | 国立        | 2.0 (2.4)    | 26.7 (25.9)   | 36.5 (36.7)    | 34.8 (35.0)   | 71.3 (71.7)   |             |
| 公立    | 3.1 (1.7) | 28.9 (20.4)  | 35.0 (36.3)   | 33.0 (41.6)    | 68.0 (77.9)   |               |             |
| 私立    | 2.7 (3.8) | 20.2 (19.1)  | 37.3 (38.9)   | 39.7 (38.2)    | 77.0 (77.1)   |               |             |
| 平均    | 2.2 (2.7) | 25.1 (23.9)  | 36.7 (37.3)   | 36.0 (36.1)    | 72.7 (73.4)   |               |             |

(注) ( ) は、平成14年度調査における割合である。

P表 アルバイト従事職種別学生数の割合

(単位：%)

| 区分      | 家庭教師           | 事務             | 軽労働            | 重労働<br>危険作業    | 特殊技能<br>その他    | 計              |       |
|---------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|
| 大学昼間部   | (17.5)<br>16.5 | (6.9)<br>6.8   | (64.2)<br>64.0 | (3.7)<br>3.2   | (7.7)<br>9.5   | 100.0          |       |
| 男       | (16.7)<br>15.8 | (5.3)<br>5.2   | (63.6)<br>63.7 | (3.0)<br>5.4   | (11.4)<br>9.9  | 100.0          |       |
| 女       | (18.4)<br>17.4 | (8.9)<br>8.6   | (65.0)<br>64.4 | (0.3)<br>0.7   | (7.4)<br>9.0   | 100.0          |       |
| 短期大学昼間部 | (3.9)<br>3.1   | (4.8)<br>5.0   | (79.2)<br>77.8 | (2.0)<br>1.3   | (10.1)<br>12.8 | 100.0          |       |
| 大学院     | 修士課程           | (32.9)<br>31.3 | (12.7)<br>11.5 | (30.0)<br>31.5 | (3.3)<br>1.9   | (21.1)<br>23.9 | 100.0 |
|         | 博士課程           | (29.2)<br>26.3 | (9.9)<br>9.8   | (8.1)<br>8.6   | (1.1)<br>1.1   | (51.7)<br>54.2 | 100.0 |

(注) 1. 軽労働とは、包装、箱詰、選別、整理、封入、発送等である。  
2. ( ) は、平成14年度調査の割合である。

## 5. 奨学金の受給希望及び受給状況

### (1) 学校種別の奨学金受給希望・受給状況 (第9図)

奨学金受給希望の状況及び受給者（日本学生支援機構，地方公共団体，民間団体，学校からの奨学金受給者をいう。）の割合をみると，第9図のとおりとなっている。

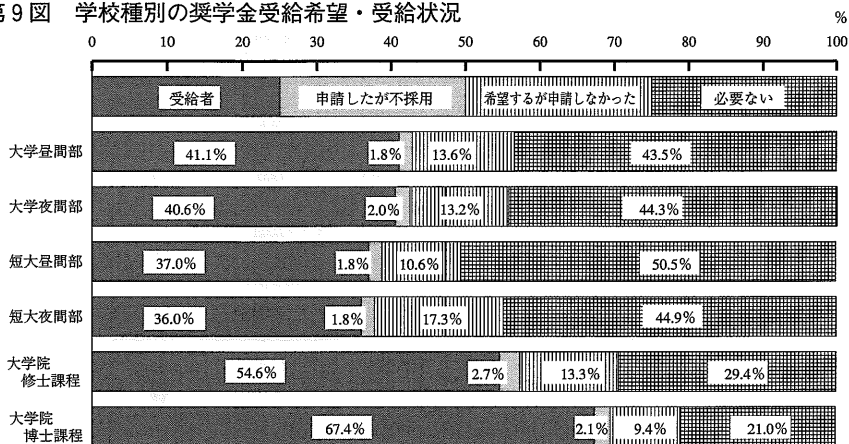
#### ①大学昼間部

奨学金受給者は41.1%，申請したが不採用となった者は1.8%であり，両者を合わせると42.9%の者が奨学金受給希望者といえる。さらに「奨学金の受給を希望するが申請しなかった」いわゆる潜在的な奨学金受給希望者が13.6%あり，これらを含めると，全学生の約半数以上が奨学金の受給を希望していることとなる。

#### ②大学院

奨学金受給者は，修士課程が54.6%，博士課程が67.4%となっており，大学昼間部の41.1%に比べ高くなっている。

第9図 学校種別の奨学金受給希望・受給状況



### (2) 設置者別の奨学金受給希望・受給状況

(第10図，72頁 (K-1表)，111頁 (K-2表)，112頁 (K-3表))

全学生に対する奨学金受給者の割合を設置者別にみると，第10図のとおりである。

#### ①大学昼間部

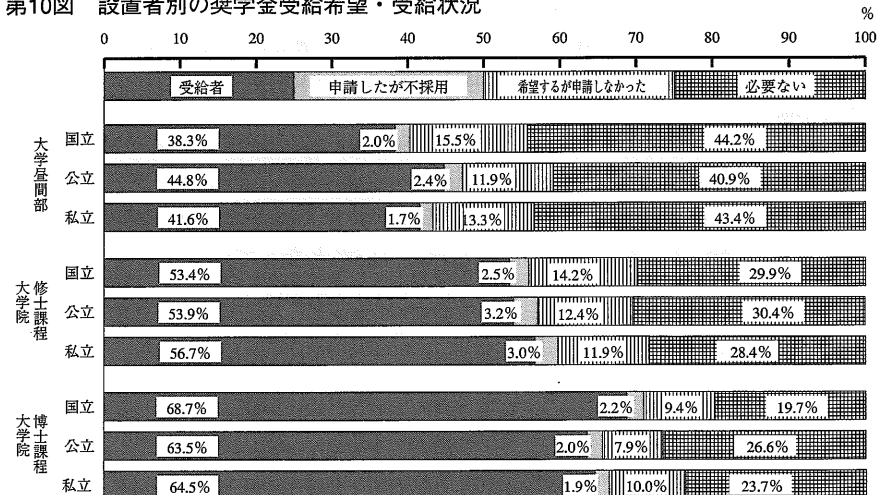
奨学金受給者の割合は，公立が最も高く44.8%で，以下私立41.6%，国立38.3%の順となっている。また，奨学金の申請者に対する受給者の割合は，国立95.0%，公立94.9%，私立96.1%となっている。

#### ②大学院

修士課程の奨学金受給者の割合は，私立が最も高く56.7%で，以下公立53.9%，国立53.4%の順となっている。なお，奨学金の申請者に対する受給者の割合は，国立が95.5%，公立が94.4%，私立が95.0%となっている。

また，博士課程の奨学金受給者の割合は，国立が最も高く68.7%で，以下私立64.5%，公立63.5%の順となっているが，奨学金の申請者に対する受給者の割合は国立が96.9%，公立96.9%，私立97.1%となっている。

第10図 設置者別の奨学金受給希望・受給状況



(3) 家庭の所得階層別の奨学金受給希望・受給状況 (第11図)

大学昼間部の家庭の所得階層別の奨学金受給希望及び受給状況を見ると、第11図のとおり、学生の家庭の所得が多くなるにつれて奨学金受給者は少なくなる傾向を示している。

なお、「奨学金の受給を希望するが申請しなかった」いわゆる潜在的な奨学金受給希望者は、家庭の所得の多少にかかわらず、全所得階層にわたり一定の割合を占めている。

(4) 奨学金の種類別・設置者別受給状況 (第12図)

奨学金受給者の大部分が日本学生支援機構の奨学生であるが、日本学生支援機構以外の奨学金を受給している者の割合が最も高いのは私立となっている。その状況は第12図のとおりである。

①大学昼間部

日本学生支援機構の奨学金受給者（日本学生支援機構以外の奨学金と両方を受給している者を含む。以下同じ。）の割合は、国立と公立が高く両方とも92.0%，次いで私立89.3%の順となっている。

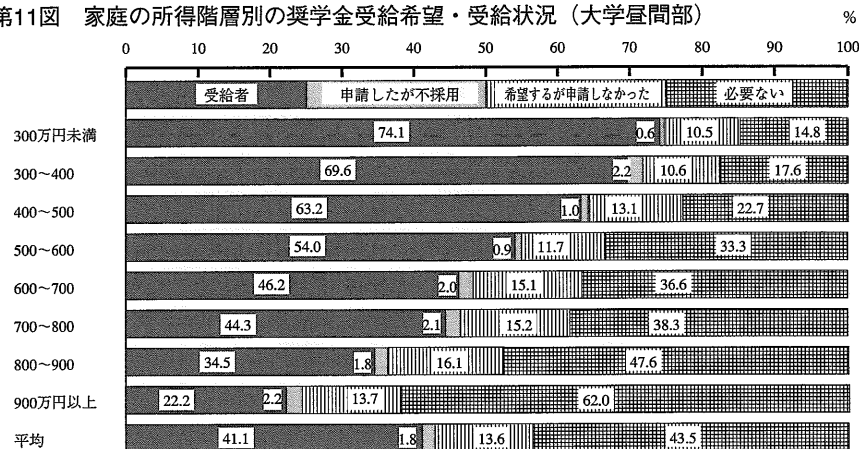
一方、日本学生支援機構以外の奨学金受給者（日本学生支援機構の奨学金と両方を受給している者を含む。以下同じ。）の割合は、逆に私立が最も高く21.7%，次いで公立14.0%，国立13.6%の順となっている。

②大学院

日本学生支援機構の奨学金受給者の割合は、修士課程では国立が、博士課程では公立が最も高く、それぞれ97.0%，90.5%となっている。

一方、日本学生支援機構以外の奨学金受給者の割合は、修士課程、博士課程とも私立が最も高く、それぞれ26.4%，41.5%となっている。

第11図 家庭の所得階層別の奨学金受給希望・受給状況 (大学昼間部)



第12図 奨学金の種類別・設置者別受給状況

